日本語版



SHOFU SureFile

松風シュアファイル

アイスペシャル C-Ⅱ～C-Ⅵ専用画像振り分けソフト

本ソフトの概要 1
本ソフトの起動方法 3
使用方法 5
参考情報 12
仕様 17

Ver. 4. x

SHOFU INC.

本ソフトの概要

本ソフトは「アイスペシャル C-Ⅱ」、「アイスペシャル C-Ⅲ」、「アイスペシャル C-Ⅳ」、「アイスペシャル C-V」および「アイスペシャル C-Ⅵ」専用の画像振り分けソフトです。
本ソフトを使用することで、画像をパソコンに転送する際に、撮影時に入力した識別情報ごとに自動的に振り分けて整理することができます。

1. 撮影した画像のパソコンへの転送

画像のパソコンへの転送は次の 3 種類の方法が可能です。

SD カードから転送する場合



パソコンの SD カードスロット（差し込み口）に SD カードを挿入することで、SureFile への転送が開始され、自動的に画像の整理が行われます。SD カードスロットが搭載されていない場合は、SD カードリーダーなどを利用してください。

※SD カードはアイスペシャル C-Ⅱ～C-Ⅵでフォーマットしてからお使いください。

指定フォルダから転送する場合



設定した「指定フォルダ」に画像を保存することで、SureFile への転送が開始されます。メールなどで添付されてきた画像をこの「指定フォルダ」に保存すれば、あとは自動的に画像の整理が行われます。

※動画の場合は動画ファイル本体(.MOV 形式)だけでなく、同名の識別情報ファイル(.MIF 形式)も必ず「指定フォルダ」に保存してください。(例:PICT0323.MOV、PICT0323.MIF)

USB ケーブル（ Type-C ）から転送する場合



「アイスペシャル C-Ⅵ」は、USB ケーブルを用いてパソコンと接続可能です。接続後、USB デバイスとして認識されることで、SureFile への転送が開始され、自動的に画像の整理が行われます。

※アイスペシャル C-Ⅱ～C-V では USB 接続機能はご利用になれません。

※充電専用ケーブルはお使いになれません。

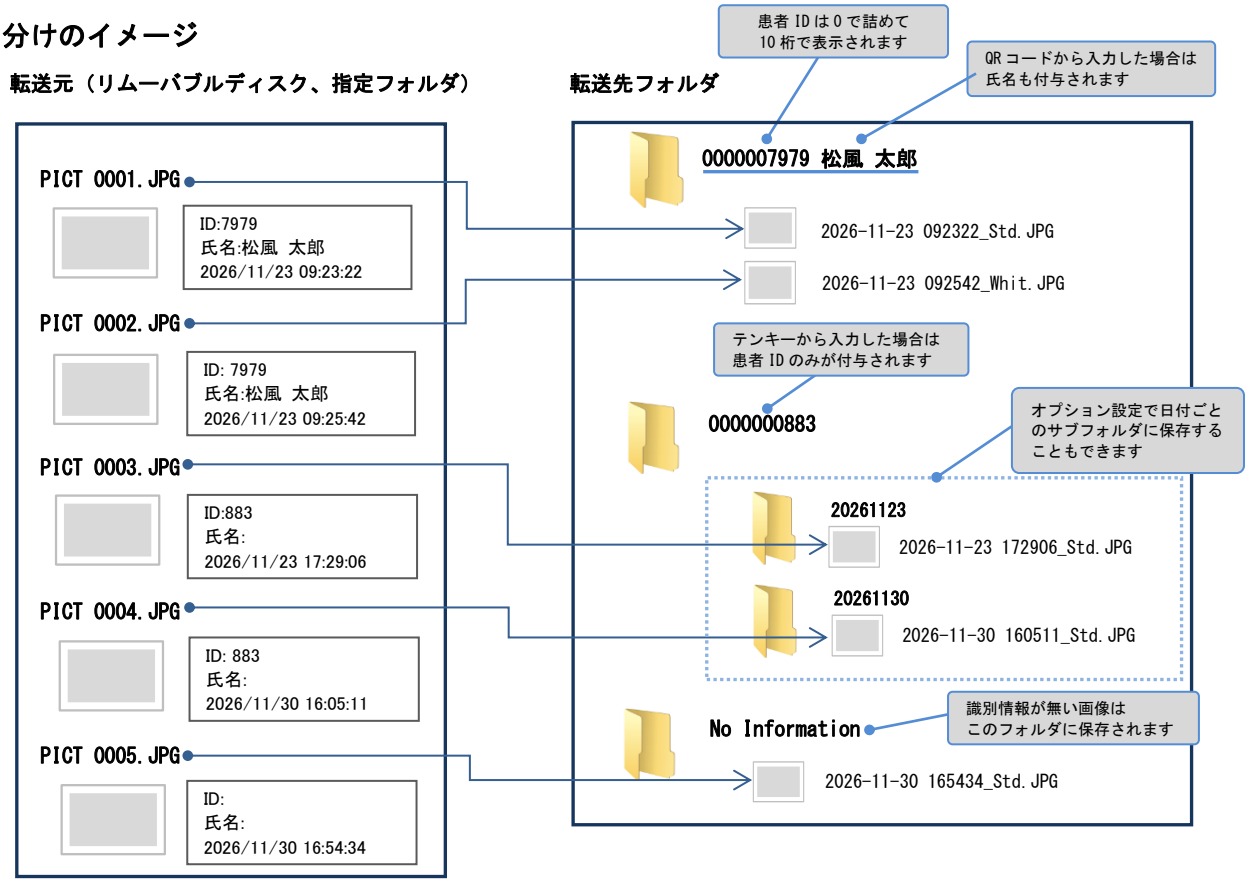
- Microsoft、Windows、Windows11 は米国 Microsoft® Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating System です。
- Apple、Macintosh、macOS は、米国 Apple Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Wi-Fi および WPS は Wi-Fi Alliance の登録商標または商標です。
- SD ロゴ、SDHC ロゴ、および SDXC ロゴは、SD-3C, LLC の登録商標です。
- USB、USB Type-C は、USB Implementers Forum の登録商標です。
- QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

2. 画像の自動振り分け



パソコンに画像が転送されると、自動的に患者さまごとのフォルダに画像が振り分けられます。さらに患者フォルダ内で日付ごとのサブフォルダに保存するなどの設定も可能です。

画像振り分けのイメージ

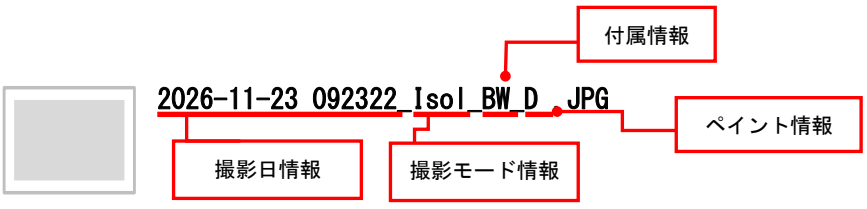


参考

- 自動振り分けは、あらかじめアイスペシャル C-Ⅱ～C-Ⅵで識別情報を入力して撮影した画像に限ります。
- 識別情報を入力せずに撮影した画像は「No Information」フォルダに転送されます。
- アイスペシャル C-Ⅱ～C-Ⅵ以外で撮影した画像は転送されません。

3. ファイル名の変更

下図のように、撮影日時・撮影モードおよびその他の付属情報に応じたファイル名に変更して保存されます。



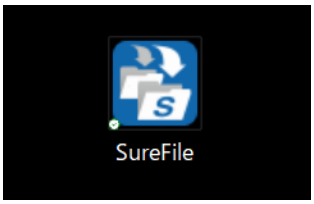
※(例) シェード抽出モードで撮影した画像

本ソフトの起動方法

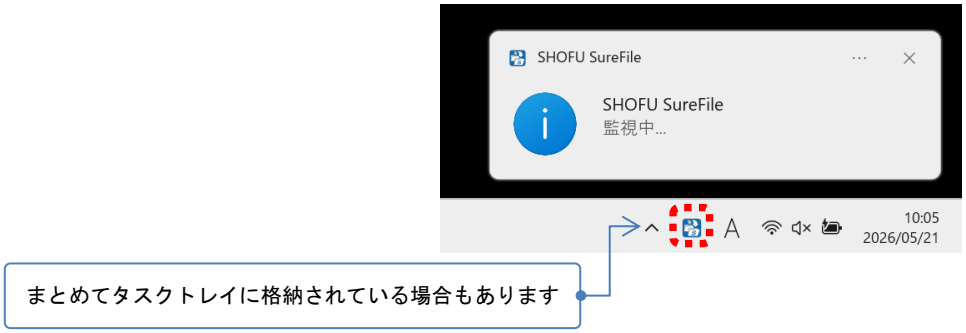
Windows の場合

デスクトップ上のアイコンをダブルクリックします。

（スタートメニューから、「すべてのアプリ」→「SHOFU」→「SureFile」を選択することでも起動できます。）



タスクトレイに以下のアイコンが表示されていることを確認します。



参考

- 次回以降は自動的に起動するように設定されています。
- 設定から、自動的に起動しないように変更することもできます。

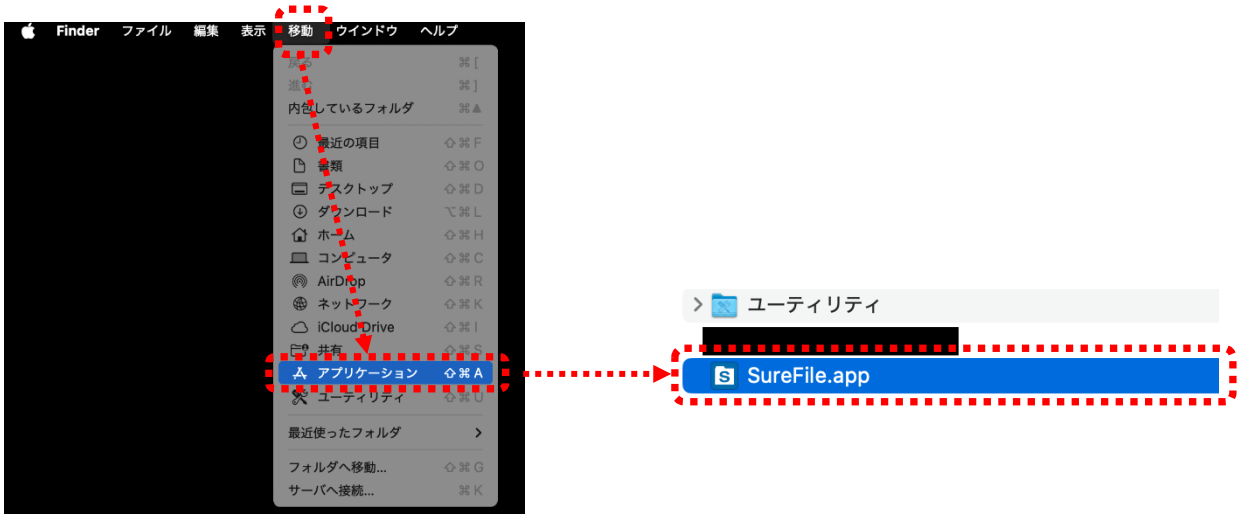
Mac の場合

次のいずれかの方法で SureFile を起動できます。

- **Finder から起動する場合**

  ① デスクトップ上部のメニューバーから 「移動」→「アプリケーション」 を選択します。

  ② アプリケーションフォルダが開いたら、「SureFile」アイコン をダブルクリックします。



- **Dock から起動する場合**

  ① Dock 上の「アプリケーション」フォルダ をクリックします。

  ② 表示された一覧から 「SureFile」アイコン をクリックします。

- **Launchpad から起動する場合**

  ① Launchpad を起動します。

  ② 表示されたアイコンの中から 「SureFile」アイコン をクリックします。

画面上部のステータスバーに以下のアイコンが表示されていることを確認します。



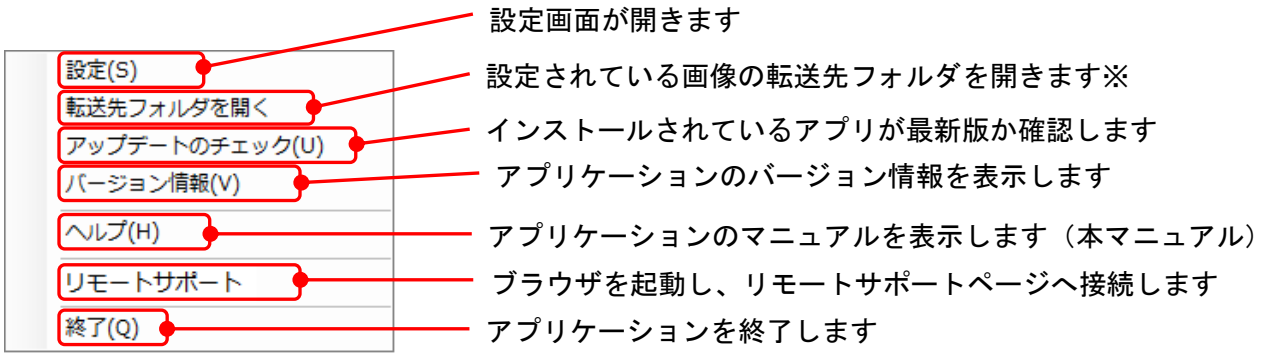
参考

- 次回以降は自動的に起動するように設定されています。
- 設定から、自動的に起動しないように変更することもできます。

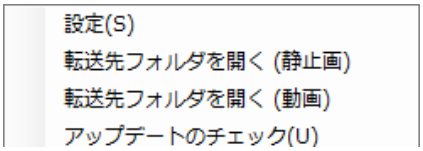
使用方法

ここでは本ソフトウェアの機能について説明します。

メニュー画面



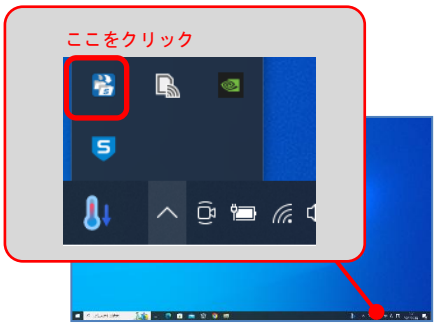
※設定によっては下図のように「(静止画)」「(動画)」と分けて表示される場合があります。



メニューの表示方法

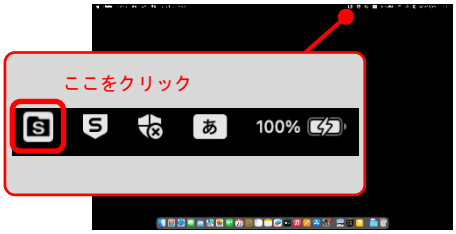
Windows PC の場合

タスクトレイのアイコンをクリックするとメニュー画面が表示されます。



MacPC の場合

メニューバーのアイコンをクリックするとメニュー画面が表示されます。

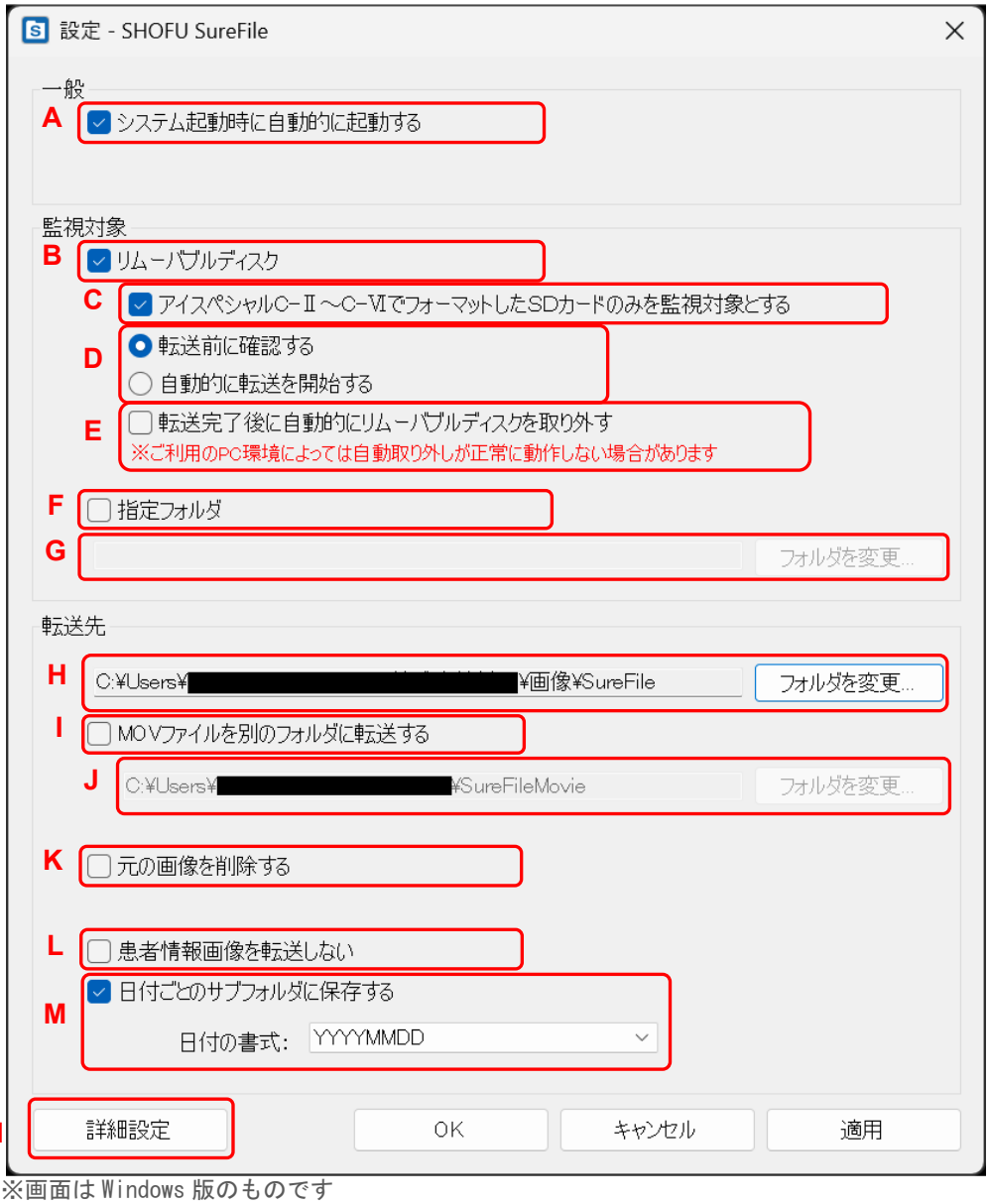


設定

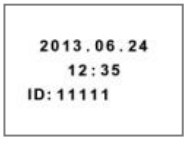
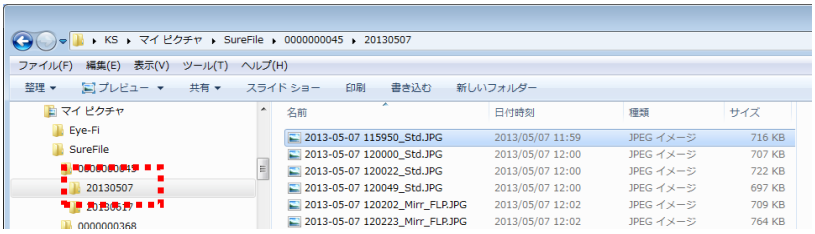
本ソフトの基本設定及び画像の振り分け条件の設定を行います。

各機能を有効にするにはチェックボックスをクリックしてチェックマークをつけます。

【 設定画面 】



※画面は Windows 版のものです

一般	
A	パソコン起動時に本ソフトも自動的に起動します。
監視対象	
B	SD カードから画像を転送する場合はチェックします。
C	アイスペシャル C-Ⅱ～C-Ⅵでフォーマットした SD カードのみを監視対象にしたい場合にチェックします。 この機能を有効にしておくと、アイスペシャル C-Ⅱ～C-Ⅵ以外で使用している SD カードや USB メモリなどの他のリムーバブルディスクを挿入しても取り込みが開始されません。 ※Mac 版では常にこの機能が有効になっており、選択することができません。
D	画像転送前に確認するか、確認せずに自動的に転送を開始するか選択します。
E	転送完了後に自動的にリムーバブルディスクを取り外す/取り外さないを選択します。
F	指定フォルダを利用して画像を転送する場合はチェックします。
G	監視対象としたいフォルダを設定します。 ※指定フォルダ以下のすべてのフォルダが監視対象になります。
転送先	
H	転送先のフォルダを指定します。 ※振り分けられた画像が保存されるフォルダです。
I	動画ファイルを静止画とは別のフォルダに転送する場合はチェックします。
J	動画ファイル専用の転送先のフォルダを指定します。 ※振り分けのルールは静止画と同じです。
K	SD カード/指定フォルダ内に保存されていた画像を転送完了後、削除します。
L	右図のような識別情報画像を転送しないようにします。  識別情報画像
M	患者フォルダ内に、日付ごとのサブフォルダが作成されます。 日付の書式はドロップダウンリストから 12 種類を選択できます。 
N	フォルダ名の命名規則を変更するなど、より詳細に設定を変更することができます。

注記

<u>指定フォルダと転送先フォルダの設定について</u>

転送先フォルダは、初期の設定ではパソコンのピクチャ内の［SureFile］フォルダ内に自動的に設定されます。

各フォルダの設定は変更することが可能ですが、監視対象の指定フォルダ内に転送先フォルダを指定することはできません。

※指定するとエラーが表示されます。転送先フォルダの保存場所を変更してください。

参考

Mac 版の機能制限について

Mac 版ではリムーバブルディスクを監視対象とする場合、必ずアイスペシャル C-Ⅱ～C-Ⅵでフォーマットされた SD カードのみを監視対象とする仕様です。

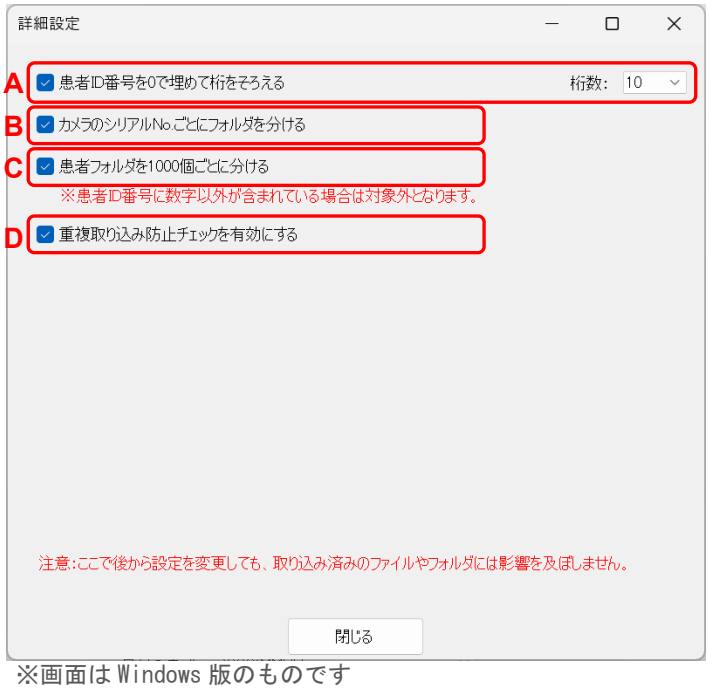


※Mac 版の設定画面

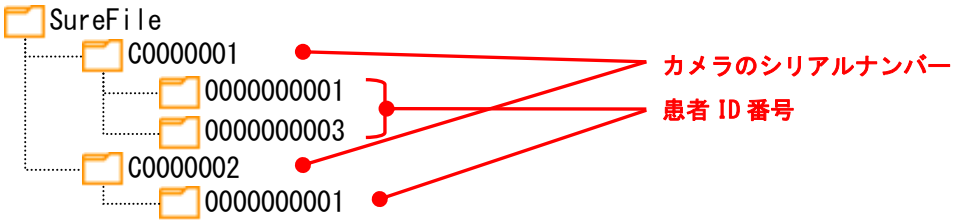
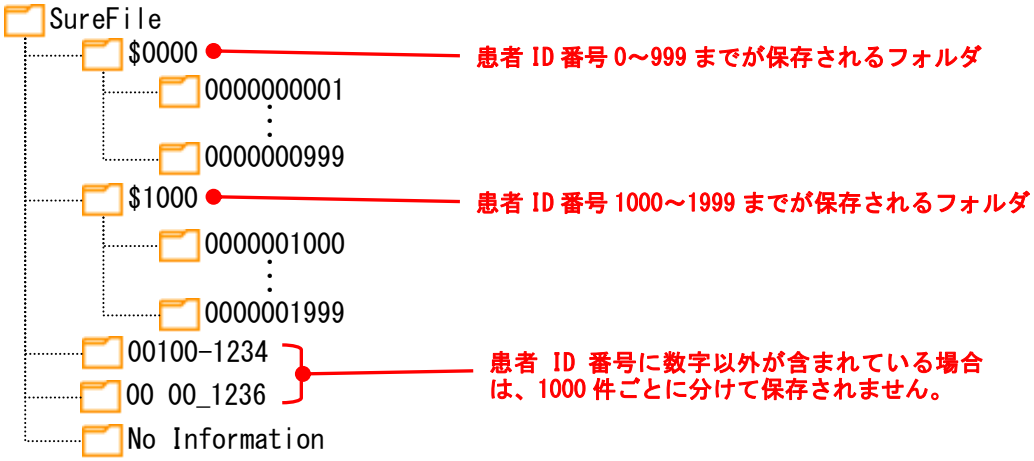
詳細設定

フォルダ名の命名規則を変更するなど、より詳細に設定を変更することができます。

【 詳細設定画面 】



※画面は Windows 版のものです

A	患者 ID 番号ごとのフォルダを作成する際に、0 で埋めて桁数をそろえる機能の ON/OFF を設定します。 また、表示桁数を変更することもできます。
B	患者フォルダを撮影したカメラごとに分けて保存します。  ※複数の歯科医院から画像を受け取るラボでの使用を想定した機能です。
C	患者フォルダを 1000 件ごとに分けて保存します。  ※患者 ID 番号に数字以外が含まれている場合は、1000 件ごとに分けて保存されません。
D	過去に転送したことのある画像を重複して取り込まないようにチェックを行います。

注記

- 詳細設定で ON/OFF した機能は、設定画面で[OK]または[適用]を選択した時点で有効となります。
  本画面を閉じた時点では有効になっていませんのでご注意ください。
- 詳細設定で後から設定を変更しても、変更前に取り込み済みのフォルダについては影響を及ぼしません。詳細設定の変更は導入直後に一度だけ行うことをお勧めします。

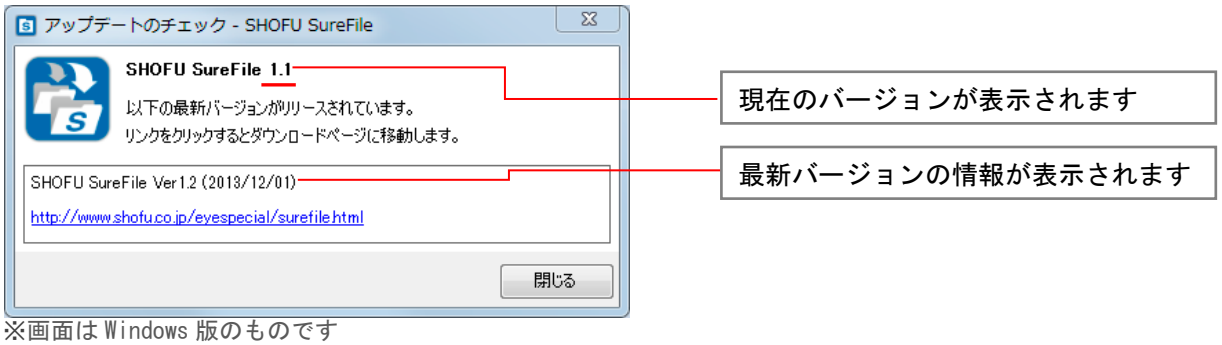
アップデートのチェック

現在ご使用中のソフトウェアが最新のバージョンであるかをインターネットに接続して確認を行います。

最新のバージョンがリリースされている場合は、表示された URL をクリックすることでダウンロードサイトに移動し、ソフトウェアをダウンロードすることができます。

最新のバージョンがリリースされている場合

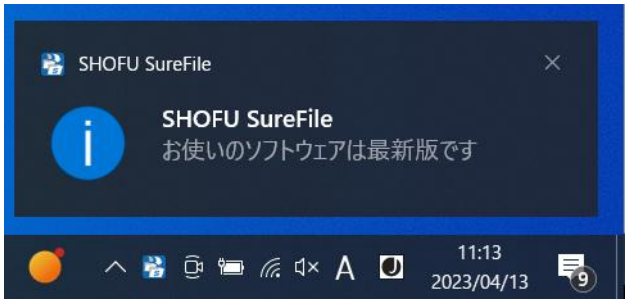
下図のようなウィンドウが表示されます。



※画面は Windows 版のものです

すでに最新のバージョンをお使いの場合

下図のように「お使いのソフトウェアは最新版です」というメッセージが表示されます。

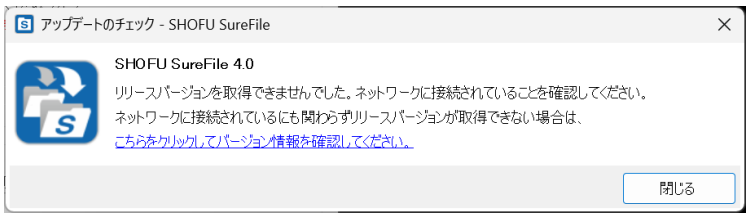


※画面は Windows 版のものです

注記

アップデートのチェックを行うには、パソコンがインターネットに接続されている必要があります。

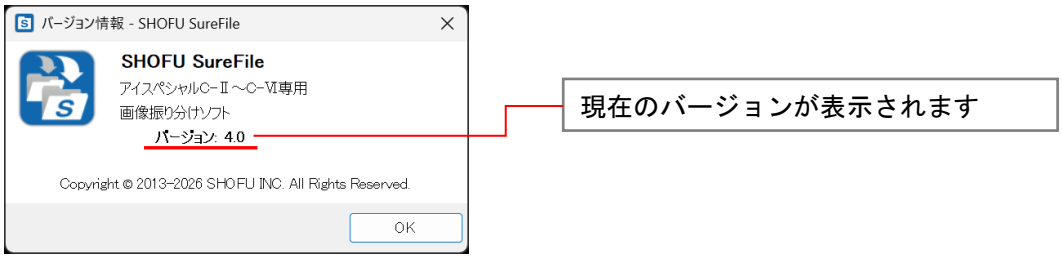
インターネットに接続されていない場合、下図のようなメッセージが表示されます。



※画面は Windows 版のものです

バージョン情報

現在インストールされているソフトウェアの情報を表示します。



※画面は Windows 版のものです

リモートサポート

ブラウザを起動し、リモートサポートページへ接続します。



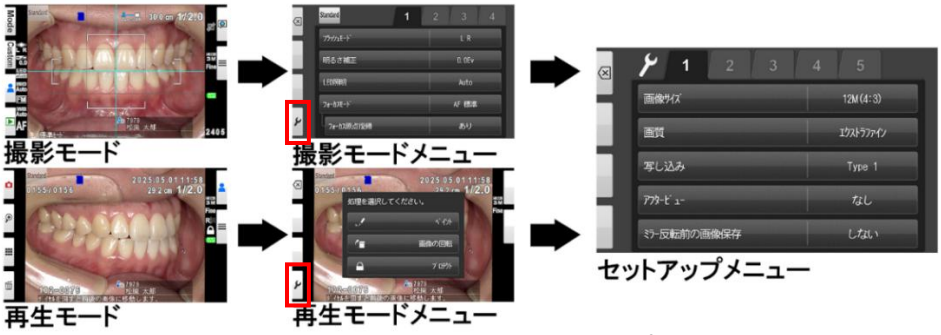
注記

- リモートサポート接続を行うためにはパソコンがインターネットに接続されている必要があります。
- 詳細はブラウザに表示された Web ページをご参照ください。

参考情報

■アイスペシャル C-Ⅱ～C-Ⅵで SD カードをフォーマットする方法

1．撮影モードまたは再生モードから（メニューキー）を押し、さらに（セットアップキー）を押します。



※アイスペシャル C-Ⅵの画面です

2．タブ５を選択し、その後「SD カードのフォーマット」を選択します。



※アイスペシャル C-Ⅵの画面です

3．「カードをフォーマットしますか？」というメッセージが表示されたら「OK」を選択します。



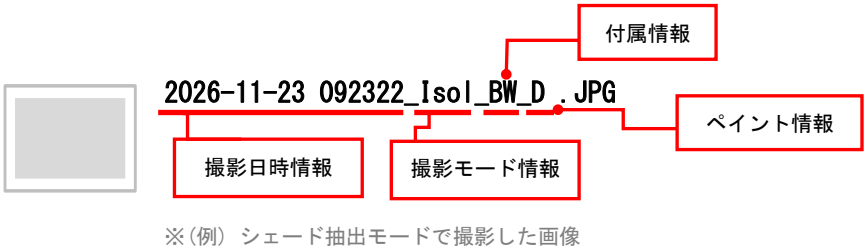
4．SD カードのフォーマットが完全に終了したことを確認してから、SD カードを取り出してください。

注記

SD カードをフォーマットすることで、SD カード内の画像・動画データはすべて消去されます。必要に応じてフォーマットを行う前にパソコンなどへデータをバックアップしてください。

■ファイルの命名規則について

本ソフトで転送された画像ファイルは、下図のように撮影日時・撮影モードおよびその他の付属情報に応じたファイル名に変更して保存されます。



※(例) シェード抽出モードで撮影した画像

撮影日時情報

画像を撮影した日時がファイル名に表示されます。



撮影モード情報

選択した撮影モード及び識別情報により、以下の情報がファイル名に表示されます。

付加される文字列	説明
Std	標準モードで撮影された画像
Srg	遠距離モードで撮影された画像
Mirr	ミラーモードで撮影された画像
Face	顔貌モードで撮影された画像
LowG	低反射モードで撮影された画像
Whit	低発光モードで撮影された画像
Tmac	テレマクロモードで撮影された画像
Isol	シェード抽出モードで撮影された画像
Mov	動画モードで撮影された画像
␣␣␣-C1 ␣␣␣-C2 ␣␣␣-C3	カスタムモードで撮影された画像 ␣␣␣の部分にはカスタムモードの元となった撮影モード（Std,Srg,Mirr,Face,LowG,Whit,Tmac,Isol）が入ります。
ID	アイスペシャル C-Ⅱ～C-Ⅵの識別情報編集メニューからテンキーや QR コードによって入力された識別情報画像
Name	アイスペシャル C-Ⅱ～C-Ⅵの識別情報編集メニューから氏名を撮影した画像

付属情報

反転した画像とシェード抽出で撮影した画像に表示される情報です。

付加される文字列	説明
FLP	ミラー反転（左右反転、上下反転）された画像
COL	シェード抽出モードの 1 枚目（抽出前）の画像
BW	シェード抽出モードの 2 枚目（抽出後）の画像

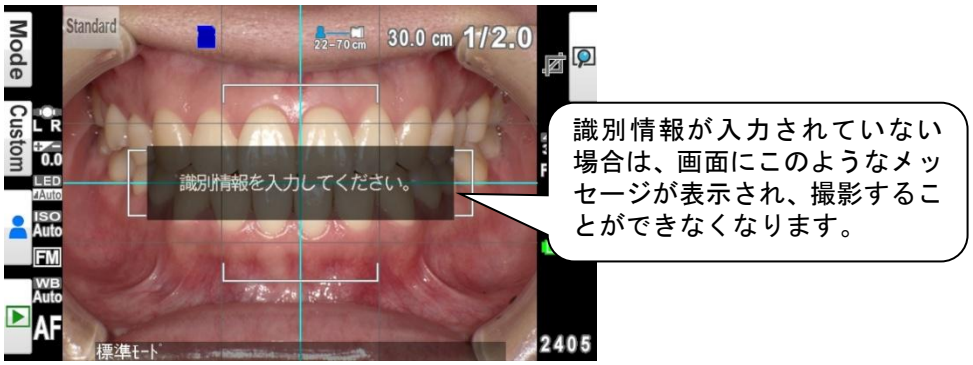
ペイント情報

ペイントをした画像に表示される情報です。

付加される文字列	説明
D	ペイント機能で編集した画像

■アイスペシャル C-Ⅳ/C-Ⅴ/C-Ⅵで識別情報の入力を必須化する方法

アイスペシャル C-Ⅳから識別情報を入力しなければ撮影ができないように機能変更することが可能です。
この機能をお使いいただくことで、識別情報の入力忘れを防止することができます。



識別情報入力必須化 ON のとき
※アイスペシャル C-Ⅵの画面です

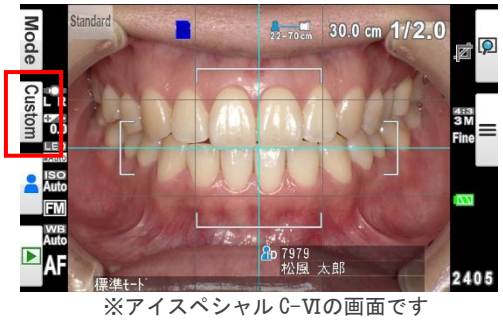
[機能変更の方法]

機能変更は以下の QR コードを使用します。

【識別情報入力必須化 ON 用】　　【識別情報入力必須化 OFF 用】

[QR コードのスキャン方法]

1. 撮影モード画面でカスタムキーをタッチしてください。



※アイスペシャル C-Ⅵの画面です

2. カスタムモード画面が出たら、[QR コードから入力]をタッチしてください。



3．白枠の少し内側に QR コードが収まるようカメラを前後左右に動かして調節し、シャッターを半押ししてください。



4．下記の画面が表示されたら、「OK」をタッチしてください。



注記

- アイスペシャル C-Ⅱ/C-Ⅲでは本機能をお使いいただくことはできません。
- 識別情報メニュー内にある[QR コードから入力]からはスキャンできません。
- 元の状態に戻すためには、識別情報入力必須化 OFF 用 QR コードをスキャンしてください。

仕様

アイスペシャル C-Ⅱ～C-Ⅵ専用　画像振り分けソフト

・動作環境

対応 OS

Microsoft　Windows 11

Apple　macOS 11～15、26～27　※連携版は除く

注記

本ソフトウェアはアイスペシャル C-Ⅱ～C-Ⅵ以外で撮影された画像ではご利用いただけません。

噛む、笑う、生きる、を支える。
株式会社 松風
〒605-0983 京都市東山区福稲上高松町11
お客様サポート窓口 TEL:075-778-5482
受付時間 8:30～12:00　12:45～17:00 (土日祝除く)